

南芦屋浜の自然【7】

第六期芦屋市環境づくり推進会議活動の記録

南芦屋浜の生物自然⑤

新しい人工環境に進出する生物たち

Ⅱ 魚類以外の生き物

潮芦屋ビーチで確認した魚類以外の生き物について紹介します。

海産動物と呼ばれる海の小動物です。

甲殻類(エビ・カニの仲間)、貝類(二枚貝・巻き貝)、腔腸類(イソギンチャクなど)が主なものです。

【節足動物 カニ類】

①イソガニ 十脚目イワガニ科
芦屋の海岸の磯には以前から多く見られるカニで、南芦屋浜でも見られています。最近数が減ってきているようです。

五月の観察会でも採集はできましたが多くはありませんでした。はさみ脚は大きく左右同じ大きさです。額は幅広く、甲には緑黄色のまだら模様があります。幼いカニも成体とほぼ同じ色彩です。



イソガニ



ケフサイソガニ

②タカノケフサイソガニ モクスガニ科
海浜にもっとも普通に見られるカニで、潮間帯の石の下などに多く見られます。
南芦屋浜の磯でも観察会の時にたくさん見られました。
甲の色彩には固変異が多く特に幼ガニでは白色の固変異もあります。
雄のはさみ脚は雌より大きいです。



南芦屋浜

③ケフサイソガニ? イワガニ科
甲幅約三センチ、イソガニに似ていますが、体色が異なり本種は暗緑褐色、淡紫赤色などが入り組んだ模様をつくります。
成長した雄は、はさみ脚の指の根元に軟毛が房状に生えますが、幼ガニや雌にはありません。同定にはやや不明瞭な点が残るので、マークをつけました。
磯の岩の間で捕らえました。



イソガニ



タカノケフサイソガニ

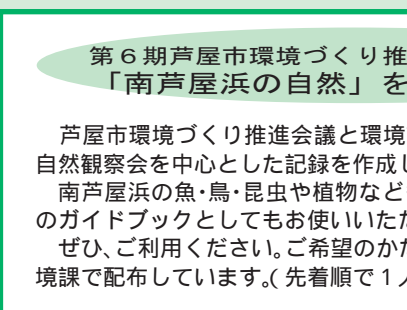
④ガザミ ワタリガニ科
生体ではありませんが、岩礁地帯端の砂浜に打ち上げられていた死んだ個体を一つ採集し、確認しました。
恐らく内湾の海域あたりに生息していたものが、遺体となって打ち上げられたものと思われる。芦屋川河口の芦屋浜でも何度か打ち上げられた遺体も見ていますので、芦屋沖の海域の沖で生息しているのでしょう。



ガザミ

※このページでは平成二十四年に、第六期芦屋市環境づくり推進会議が、活動の記録として発行した「南芦屋浜の自然」を広報国際交流課が再編集して紹介しています。

⑤イシガニ ワタリガニ科
七月の観察会で岩礁の間にいるのを捕らえました。
ガザミに似ていますが甲の前側縁の最後の歯は長く伸びません。



イシガニ

⑥チチュウカイミドリガニ ワタリガニ科
イシガニによく似ていますが、遊泳脚にオール状の部分がないのが特徴です。前種のカザミと比較して下さい。その名の通りに地中海原産の外來種で、日本には一九八四年に東京湾で発見され、大阪湾では九六年にはじめて見つかりました。阪神間では九九年頃から急速に増え始めています。



チチュウカイミドリガニ

この南芦屋浜でも、二回の観察会で採集されたカニはほとんど本種でした。内湾の海藻の生えた岩礁域のタイドプールや砂泥底の部分などに生息しています。

第6期芦屋市環境づくり推進会議活動の記録「南芦屋浜の自然」を発売しました

芦屋市環境づくり推進会議と環境課では、南芦屋浜で行った自然観察会を中心とした記録を作成しました。南芦屋浜の魚・鳥・昆虫や植物なども紹介しており、南芦屋浜のガイドブックとしてもお使いいただける内容です。ぜひ、ご利用ください。ご希望のかたに市役所南館地下1階環境課で配布しています。(先着順で1人1冊)

問い合わせ 環境課 ☎38-2051



シリーズあしや子ども風土記

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

■シリーズ「あしや子ども風土記」は、美術博物館・市役所・売店で販売しています



- 第2集「歴史さんぼ」
 - 第3集「植物のかんさつ」
 - 第4集「小さな生きものたち」
 - 第5集「文学さんぼ」
 - 第9集「写真で見る芦屋今むかし2」
- は各冊400円
- 第6集「芦屋の地名をさぐる」
 - 第7集「写真で見る芦屋今むかし」
 - 第8集「描かれた芦屋の風景」
- は各冊500円

第1集「伝説・物語」は完売しました。

市制施行70周年記念写真集「芦屋の四季・70選」発売中

市では、市民の皆さんからの公募写真でつづった市制施行70周年記念写真集「芦屋の四季・70選」を、発売しています。

市民の皆さんが切り撮った美しい現在の芦屋風景を、市制施行70周年の記念として、未来の自分への、また遠方のご家族や親しいかたへのプレゼントとしても、ぜひご利用ください。

■発売所 市役所北館1階行政情報コーナー
ラポルテ市民サービスコーナー

■定価 1,000円



問い合わせ 広報国際交流課 ☎38-2006